



# Super head+R / CYLINDER SET 取扱説明書

当社製スーパーヘッド + R 専用

L I F A N 製 1 P 5 2 F M I 2 B 1 0 エンジン専用

商品番号：01-04-8001

- ・この度は、TAKEGAWA製品をお買い上げ頂き有り難うございます。
- ・この製品は、当社製スーパーヘッド + Rヘッド専用のピストン、シリンダーのセットです。使用の際は、下記事項を遵守頂きます様、お願い申し上げます。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。  
この商品を取り付け使用し、当製品以外に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。  
商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。  
この製品は、当社製スーパーヘッド + Rヘッド専用です。  
レース等でご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け出来ません。ご了承下さい。

クランクケースの個体差により、干渉が起こる場合があります。この場合はクランクケースの修正の必要があります。  
(別紙図参照)

**注意** この表示の内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・このパーツはクローズド競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、十分注意して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)

**警告** この表示の内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術、知識のない方は、作業を行わない下さい。(技術、知識不足等による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・ピストンピンサークリップ、ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。  
(部品の摩耗や損傷で、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。  
(そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉したような場所では、エンジンを始動しないで下さい。  
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。  
(部品の脱落等で、事故につながる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは非常に引火しやすい為、一切の火気を避け、燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。(火災の原因になることがあります。)
- ・指定した部品以外の部品使用は、一切行わないで下さい。(部品破損により事故につながる恐れがあります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。  
(ボルトおよびナットの破損、脱落等で事故につながる恐れがあります。)
- ・酸化したガソリンの滞留は、危険性が有る為通気の良い場所で作業を行ってください。(爆発につながる恐れがあります。)
- ・燃料は必ず、ハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。(ノッキング等のトラブルで事故につながる恐れがあります。)

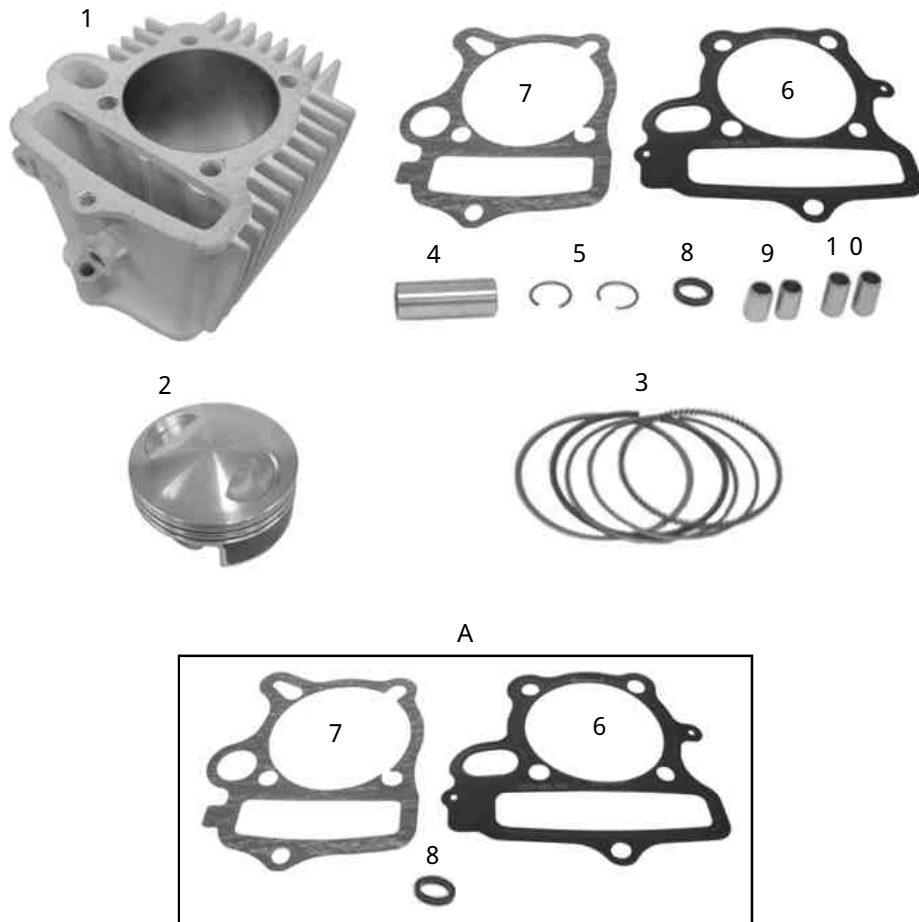
性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

クレームについては、材料及び、加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として修理又は交換させて頂きますが、工賃その他費用は対象となりません。

指示している部品以外との組み合わせによるトラブルの保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

~ 商 品 内 容 ~



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	シリンダー	1	_____	1
2	ピストン (Moコーティング)	1	_____	1
3	ピストンリング	1 SET	0 1 1 5 0 1 0 5	1
4	ピストンピン	1	1 3 1 1 1 KN4 T 0 1	1
5	ピストンサークリップ	2	0 0 0 1 0 0 5 2	6
6	ヘッドガスケット	1	1 2 2 5 1 3 S E T 0 0	1
7	シリンダーベースガスケット	1	1 2 1 9 1 C O H T 0 0	1
8	ラバーパッキン 16mm	1	0 0 0 1 0 0 6 6	2
9	ノックピン 8×12	2	0 0 0 0 0 1 9 3	2
10	ノックピン 8×14	2	0 0 0 0 0 1 9 4	2

番号	リペア品番	部 品 名
A	0 1 1 3 0 1 1 0	ガスケットキット

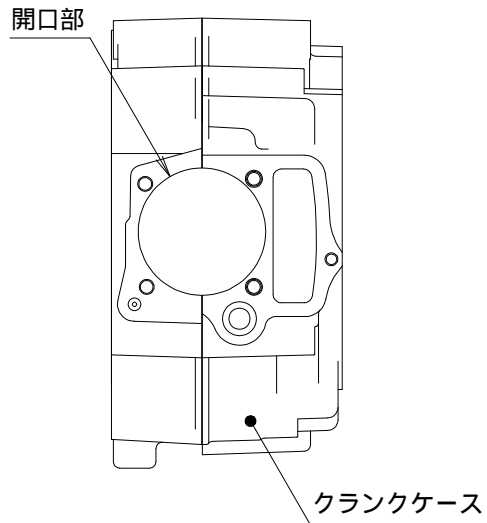
リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 式川

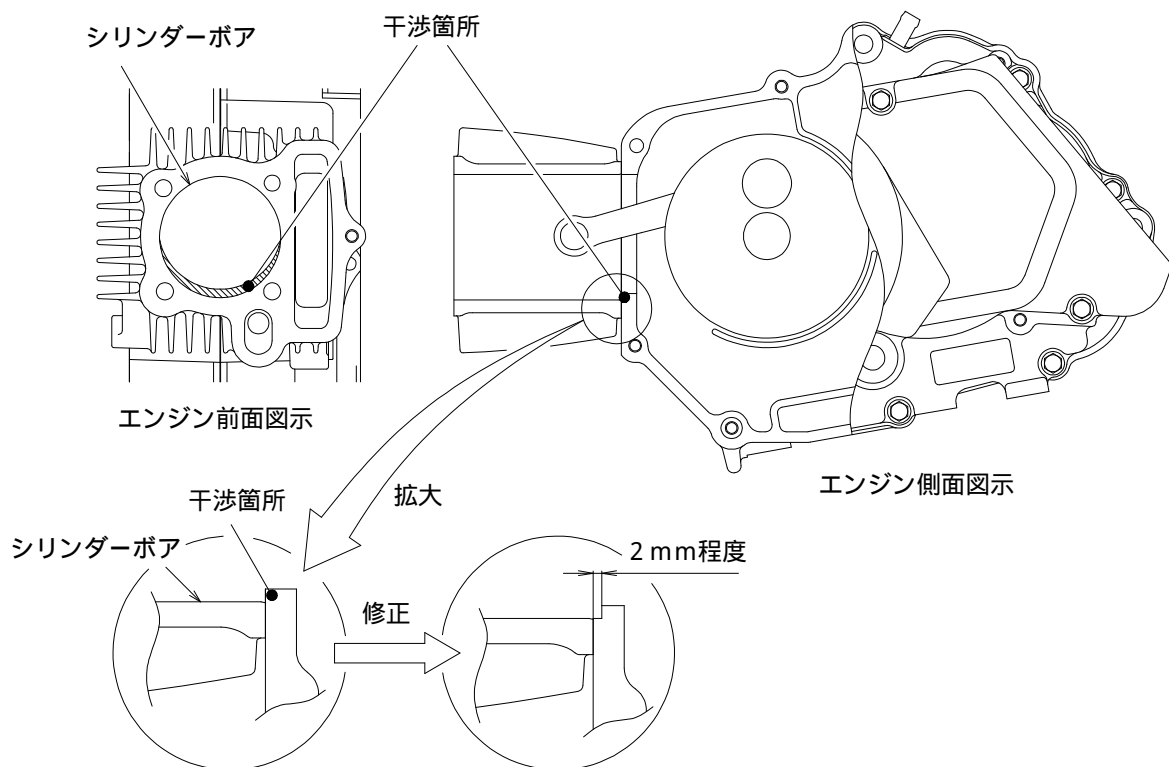
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号  
 TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059  
 お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857  
 URL <http://www.takegawa.co.jp>

## ～取 り 付 け 要 領～

ベースとなるエンジンはこのキット取り付け前に必ず点検を行い、場合によってはクランクケースを分割し、確実に各部の点検を行って下さい。  
エンジンによっては、クランクケース開口部の大きさに個体差があるためにピストンと干渉する場合があります。干渉の有無を必ず確認して下さい。



確認作業例：商品内容のシリンダーをノックピンを使用してクランクケースに仮組みし、シリンダーボアに対してクランクケース開口部が飛び出しているか確認します。飛び出している場合はピストンが干渉しますので修正を行って下さい。なお、修正深さは2mm程度です。



最終的にシリンダー、ピストンを仮組し下死点位置での干渉を必ず確認して下さい。

各部品の点検を行います。

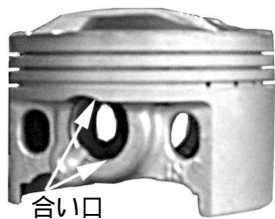
△注意：各部の点検、消耗品の確認交換は確実に行う事。

## ～シリンダー取り付け要領～

ピストンの片方にピストンピンサークリップを取り付けます。

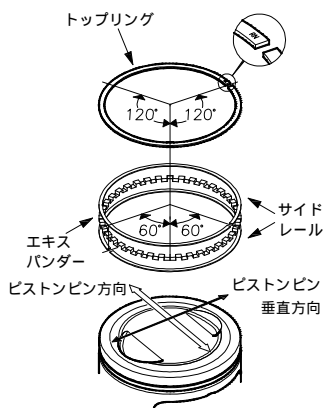


ピストンピンサークリップの合い口は、ピストンピン穴の切り欠き部を避け、ピストンに対して上下方向に合わせます。

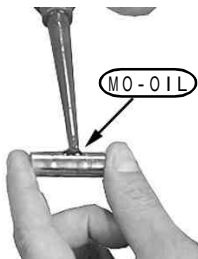


ピストンリング部及び、ピストンピン部をエアブローし、異物の噛み込みが無い事を確認します。

ピストンリング溝にオイルを塗布し、図を参考にしてピストンリングを取り付け、合い口を合わせます。トップリングは文字面を表に取り付けます。



ピストンピン及び、コネクティングロッド小端部穴にモリブデン溶液を塗布します。



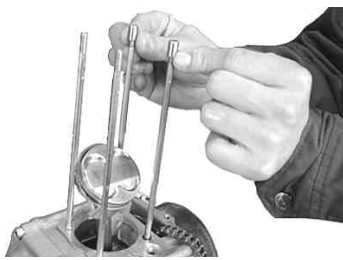
ピストンの矢印をエキゾーストに向け、コネクティングロッドにピストンを取り付けます。



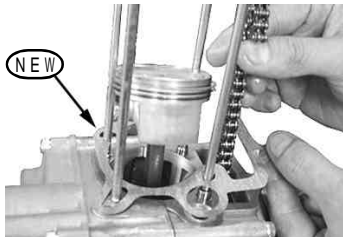
クランクケースのスリーブホール部、カムチェーンホール部にきれいなウエスを詰め込み、ピストンピンサークリップを取り付けます。



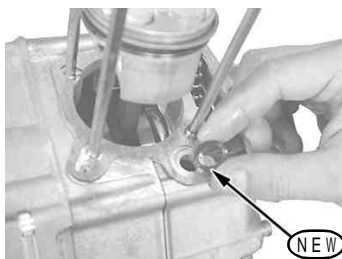
詰めていたウエスを取り外します。クランクケースのシリンダーベース面をきれいに脱脂し、ノックピン穴に、ノックピン8×12を取り付けます。



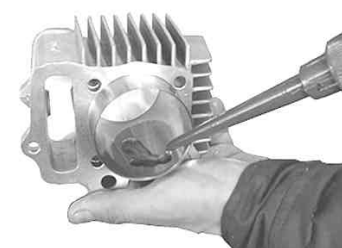
クランクケースのシリンダーベース面にキット内の部品のシリンダーガスケットを取り付けます。



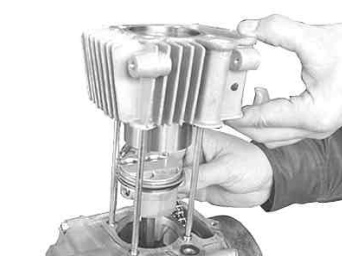
クランクケースのシリンダーベース面のオイルリターン穴部にキット内の新品のラバーパッキンラックを取り付けます。



アルミシリンダーのボア内全周にオイルを塗布します。



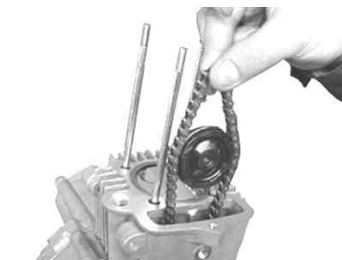
アルミシリンダーをスタットボルトに差し込みます。



ピストンリングの合い口がずれない様、ピストンリングを圧縮しながらシリンダーを取り付けます。  
△注意：ピストンリングを損傷しない様、注意する事。



カムチェーンガイドローラーをカムチェーンの間に入れます。



カムチェーンガイドローラーと、シリンダーサイドボルトを仮締めします。



シリンダーサイド部のクランクケースと結合するオリジナルの六角ボルトを仮締めします。シリンダーヘッドを取扱説明書従い取り付けます。

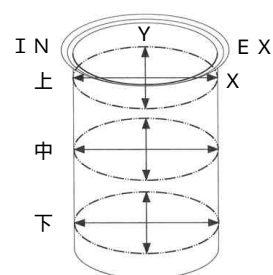
## シリンダー、ピストン整備諸元表

項目		標準	使用限度
シリンダー	歪み	_____	0.05 mm
	内径	59	59.03 mm
ピストン	外径(スカート下端より3mm)	59	58.96 mm
	ピン穴内径		14.03 mm
ピストンピン外径			13.98 mm
ピストンリング合口隙間		TOP	0.15 ~ 0.38 mm
		OIL	0.20 ~ 0.70 mm
シリンダーとピストンの隙間			0.07 mm
ピストンとピンの隙間			0.05 mm

ピストン外径はモリブデンコーティングが付いていない状態の寸法値です。

### シリンダーの点検

- ・シリンダーの内面の摩耗、損傷を点検する。
- ・ピストンピン方向とその直角軸方向(X-Y方向)に、上、中、下段の6ヶ所でシリンダー内径を測定し、記録する。  
最大測定値を内径値とする。  
59.03 mm以上交換  
シリンダーとピストンの隙間を計算して求める。



### ピストンの点検

- ・ピストンからカーボンの汚れを取り除く。
- ・ピストンにピストンリングを取り付け、ピストンリングをリング溝に押し込んだ状態で、ピストンリングと、リング溝のクリアランスをシックスネゲージで測定する。  
0.17 mm以上交換
- ・ピストンの外傷を点検する。
- ・ピストン穴に対し、直角の方向でピストンスカート下端から指定の位置でピストンの外径を測定する。  
58.96 mm以下交換
- ・ピストンピン穴の内径を測定する。  
14.03 mm以上交換
- ・ピストンとピストンピンの隙間を計算して求める。



### ピストンリングの点検

- ・ピストン頭部でピストンリングを下部に水平に取り付け、合い口のクリアランスをシックスネゲージで測定する。  
TOP - 0.5 mm以上交換 OIL - 0.9 mm以上交換

